

概要版



「第七次中井町総合計画」概要版
2026 - 2035

発行 中井町企画課

住所 〒259-0197 神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56番地

T E L 0465-81-1111(代表)

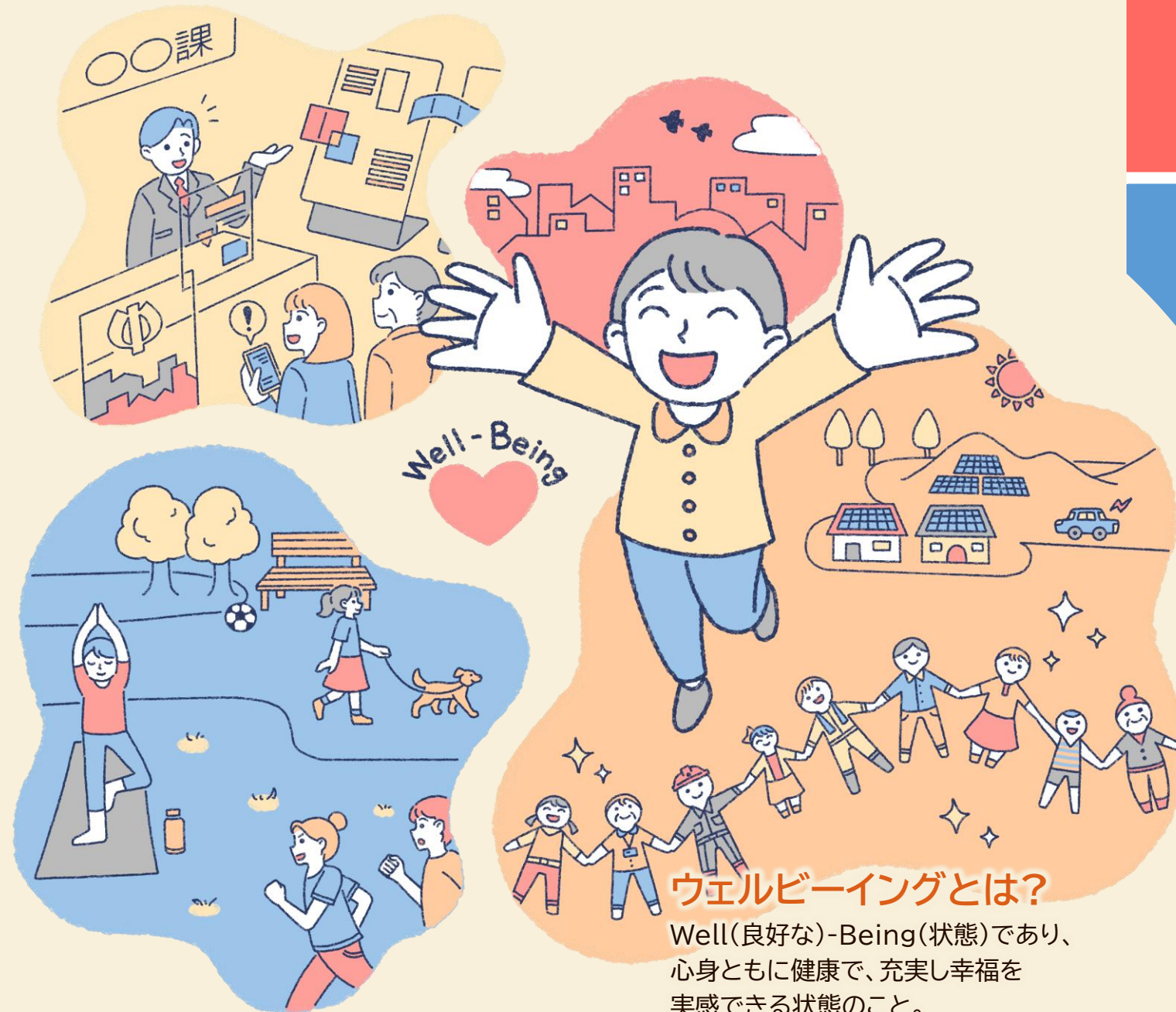
発行年度 2020年〇月

編 集 日本電気株式会社

「第七次中井町総合計画」の詳細はこちら

町民が幸福を実感できるまち なかい ～里都まちで「よく生きる」～

都市と里山の間にある里都まち（さとまち）である中井町で、中井町民の一人ひとりがこの町で「よく生きる（＝ウェルビーイング）」を実現した暮らしを送ることができるよう、町民が幸福を実感できるまちづくりを目指します。



ウェルビーイングとは？

Well(良好な)-Being(状態)であり、心身ともに健康で、充実し幸福を実感できる状態のこと。

中井町の将来像と取組

中井町では、「町民の誰もが幸福を実感し、中井町でよく生きていく」という将来像を実現するため、町民の皆さんが感じるウェルビーイングに関係性が強い要素から導き出した6つの方向性と3つの基本的考え方のもと、第七次中井町総合計画を策定しました。

将来像

町民の幸福

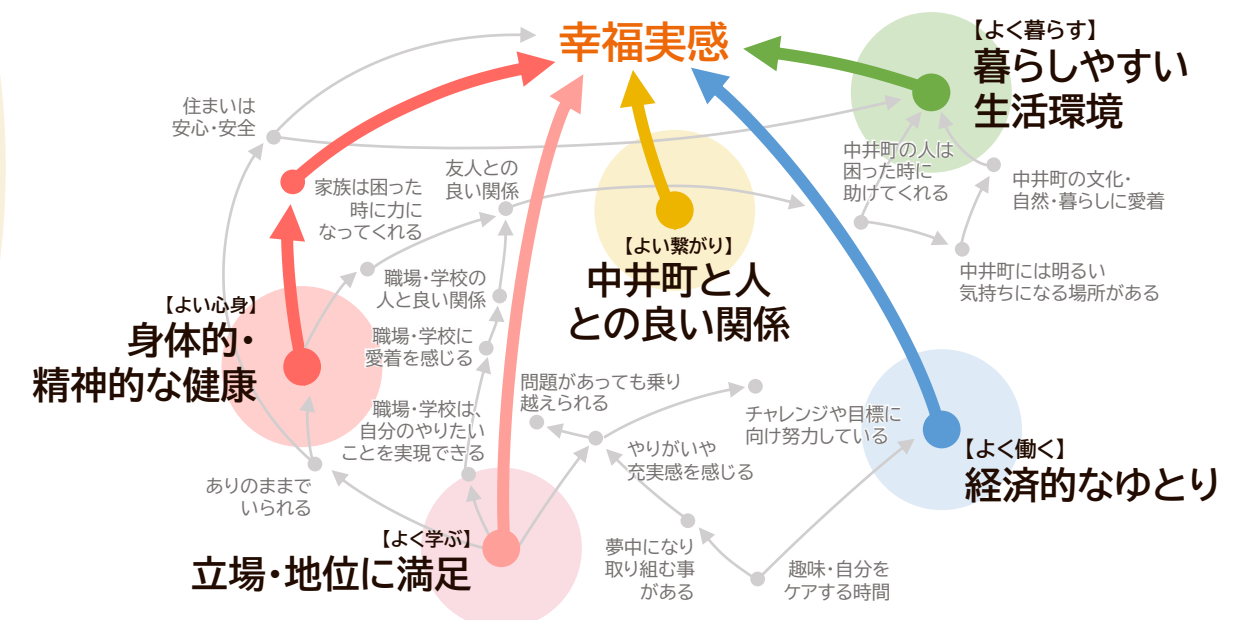
- 6つの方向性
- | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. よく暮らす
未来に引き継ぐ
自然・環境、安心・安全 | 2. よく働く
活力ある地域経済・まちづくり | 3. よく学ぶ
自分らしくあるための
学びと自己実現 |
| 4. よい心身
心と身体の健康を
育み守り合う | 5. よい繋がり
ゆるやかな人の
繋がりと地域の絆 | 6. よい行政
町民の「よく生きる」
を支える町行政 |

3つの考え方

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1. 町民一人ひとりが主役 | 2. 多様性を尊重 | 3. 次世代につなぐ |
|---------------|-----------|------------|

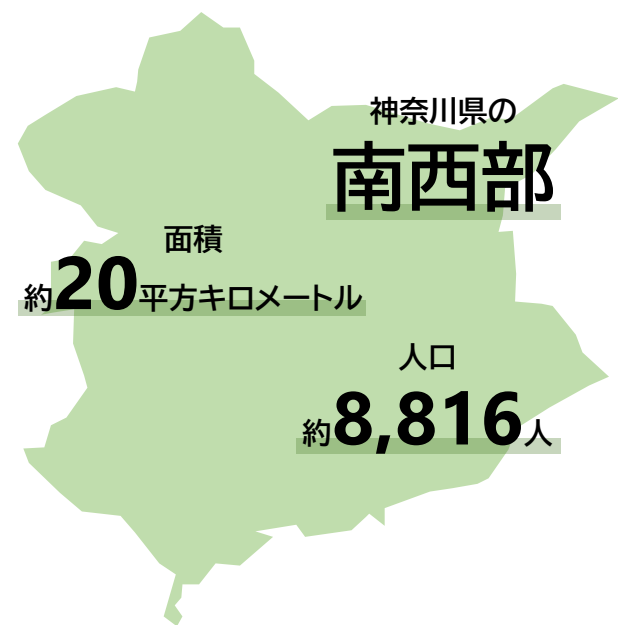
6つの方向性を導き出した因果分析図

因果分析とは？ データとデータの単なる「相関関係」だけでなく、「なぜ」そうなるのかという「因果関係」を明らかにする分析手法



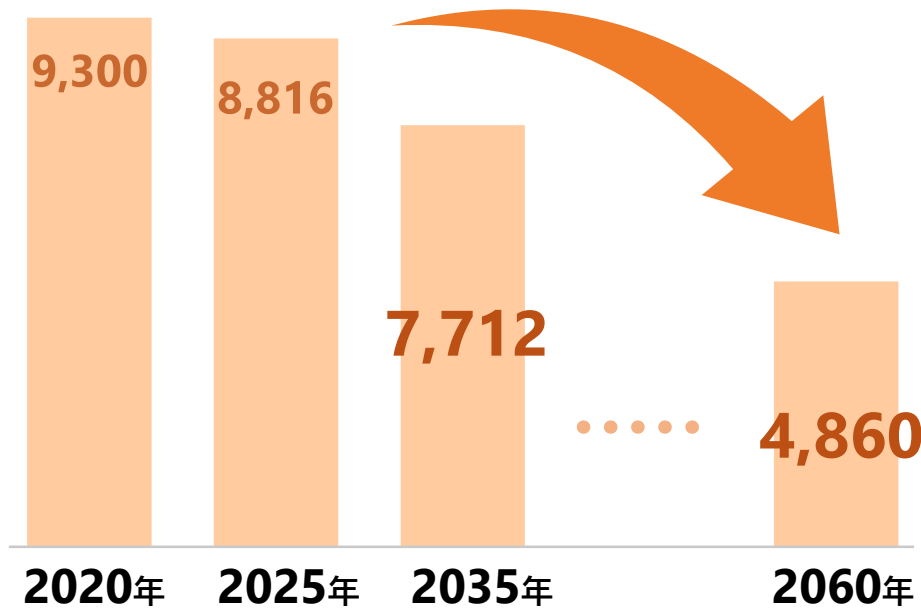
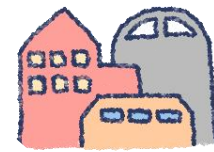
データからわかる中井町の現状と課題

中井町は、神奈川県南西部に位置する面積約20平方キロメートル、人口8,816人（2025年〇月）の緑豊かな町です。しかし、少子高齢化に伴う人口減少や、将来の幸福実感低下などの課題を抱えています。



人口減少の見通し

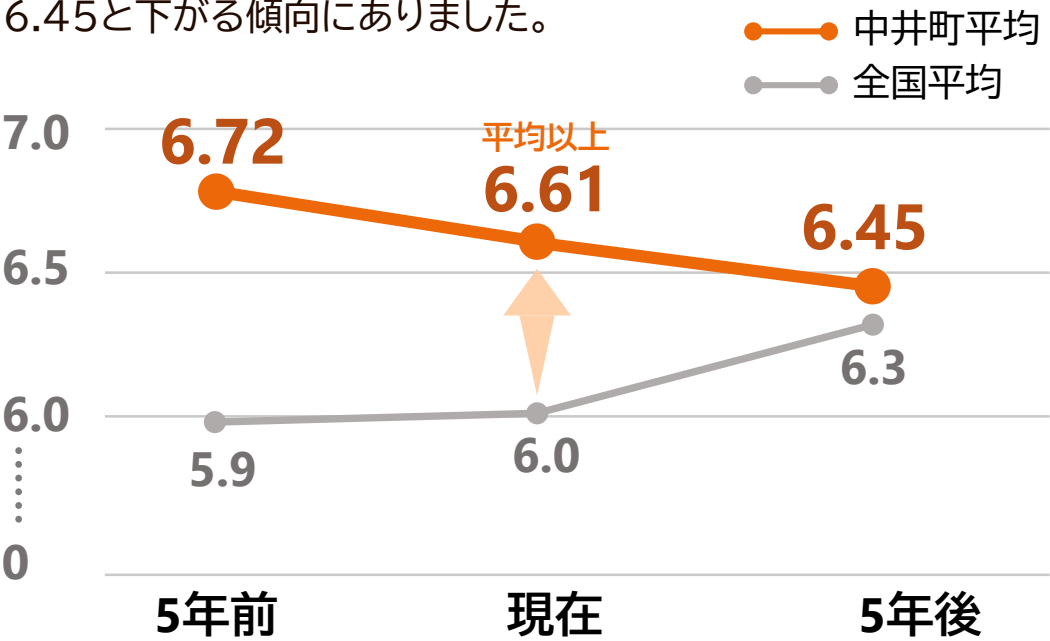
人口推計を踏まえた推計を行った結果、2035年に7,712人、2060年で4,860人となることが予想されます。一定の人口減少は避けることはできません。



※国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計結果より算出

幸福実感の見通し

2024年8月に町民のウェルビーイングに関するアンケートを実施結果から、現状は10段階で平均6.61で全国は6.0と全国よりも高いことがわかりました。ただ、5年後の幸福実感は平均6.45と下がる傾向にありました。

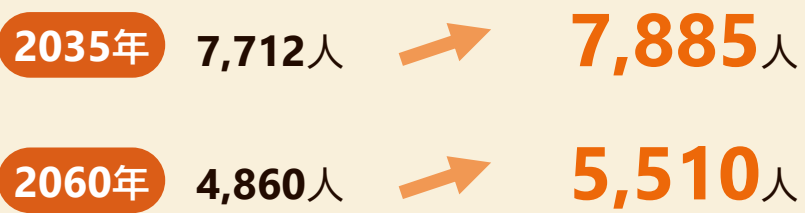


※幸福実感は、0から10の11段階で計測しています

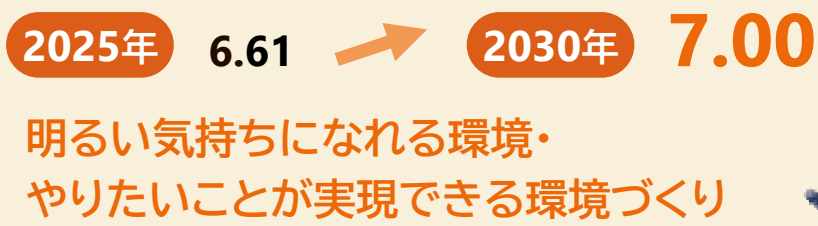
今後の目標

課題や社会の変化を想定し、目指すべき人口水準や幸福実感を高めていくための数値目標を設定しています。

目指す人口水準



目指す幸福実感水準



明るい気持ちになれる環境・
やりたいことが実現できる環境づくり



社会の変化

人口減少や少子高齢化が急速に進行し、全国的に経済成長の鈍化や社会保障制度への負担増大が社会問題となっています。このため、子育てしやすい環境の構築に向けた支援や高齢者が持つ多様な経験を活かした社会参画の増加、AI・ロボット技術の開発・導入に

向けた取組が求められています。また、行政や町民、地域企業が連携して地域の担い手となる人材の育成に取り組むなど、さまざまな世代からの地域への参画を促進することで、より住みやすい社会づくりを進める必要があります。

中井町のまちづくりの方向性

第七次中井町総合計画では、中井町民が感じるウェルビーイングの実現に係る要素を町民アンケートから分析・検討を積み重ねました。

それらの検討を踏まえ、中井町の町民一人ひとりが幸福を実感できるまちの実現に向けた今後のまちづくりの方向性として、次の6つを定めます。

方向性

1

よく暮らす

幸せ指標

暮らしやすい生活環境

未来に引き継ぐ自然・環境、安心・安全

自然や環境を守り、安心・安全な暮らしを未来へ引き継ぐために、中井町の美しい自然と豊かな環境を守り、次世代に引き継ぐことを大切にします。また、気候変動や災害、事故から町民を守る安心・安全なまちづくりを進め、誰もが快適に暮らせる環境を整えます。



方向性

2

よく働く

幸せ指標

経済的なゆとり

活力ある地域経済・まちづくり

活力ある地域経済と魅力的なまちづくりを進めるために、地域産業の活性化や新たな雇用の創出を支援し、働く人が誇りを持てる環境を整えます。また、住みやすく訪れたい魅力的なまちづくりを推進し、地域の活力を高めます。



方向性

3

よく学ぶ

幸せ指標

地位・立場に満足

自分らしくあるための学びと自己実現

自分らしく生きるための学びと成長の場を提供するために、子どもから大人まで、一人ひとりが自分らしく学び、成長できる環境を整えます。生涯学習の機会を広げ、挑戦や自己実現を支える町を目指します。



方向性

4

よい心身

幸せ指標

身体的・精神的な健康

心と身体を健康を育み守り合う

心と身体を健康を育み、支え合う社会を実現するために、町民の健康づくりを推進し、誰もが健やかに暮らせる環境を整えます。また、地域のみならず町全体で支え合い、充実した福祉や子育て環境を整え、心の健康も大切にするまちづくりを進めます。



方向性

5

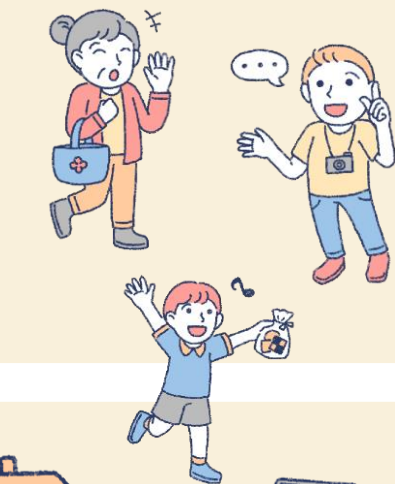
よい繋がり

幸せ指標

中井町の人と良い関係

ゆるやかな人の繋がりと地域の絆

ゆるやかな人のつながりと地域の絆を大切にするために、地域のつながりを深め、支え合いながら暮らせる環境を育みます。また、多世代・多文化が交流し、誰もが安心して暮らせるコミュニティづくりを目指します。



方向性

6

よい行政

町民の「よく生きる」を支える町行政

町民の「よく生きる」を支えるために、町民と行政が協力し、より良いまちづくりを進めます。行政改革を推進し、誰もが利用しやすく、町民に寄り添う行政を目指します。

